

今回のジオパーク通信では、ジオパークのガイド活動についてご紹介します。

地球の活動をわかりやすく、楽しく学べるジオパークですが、もっとも効果的にジオパークの魅力を伝えられるのは「ガイド(案内者)」の皆さんです。

洞爺湖有珠山地域内では、ジオパークに登録される以前から、たくさんのガイド団体が活動しています。火山や植物等の自然環境、あるいは地域の歴史文化等について、各施設や散策路でガイド活動を行ってきました。

ジオパークでは、これらのガイド団体が連携し、満足度の高いツアーを楽しんでもらえるよう、ガイド技術を高めるための「ジオパーク・パートナー講座」を実施しています。



イラストや写真を使った説明



有珠山観測機器についての学習会の様子

これまでの講座では、有珠山周辺の観測機器について学ぶ現地学習会、プロガイドに話術や引率のコツについて学ぶ「ガイド技術講習」の他、噴火湾のイルカやシャチの生態についてオープンスペースでお話を聞ける会等がありました。

ジオパーク・パートナーに登録(無料)いただいた方には、ジオパーク関連の資料と講習会の案内を送付しています。興味のある方はぜひお問い合わせください。

ジオサイト紹介

豊浦町礼文華にあるジオサイト「カムイチャシ」です。約300万年前の海底噴火の時に噴出した溶岩などの中で、固い部分だけが波の浸食に耐えて残りました。この岬の上が「カムイチャシ」と呼ばれる、アイヌの人たちが大切にしていた場所です。

「チャシ」とは、争いの時の砦と言われていますが、ここは海に突き出た地形なので、漁をする時の見張り台だったのではないかという説もあります。地球の活動と、人間の歴史の両方を感じられるジオサイトです。



横から見ると、海につきだした地形がよくわかります

～ カムイチャシまでの行き方 ～
国道37号を長万部方向に向かいます。豊浦町市街地を抜け、「大岸2km」の標識があるので、左折。突き当りのT字交差点を左折、道なりに進んでJR大岸駅前を通過し、線路をくぐって海岸沿いに進みます。トンネルを抜けると右手に「カムイチャシ駐車公園」があります。ここに車を止め、駐車場前から約130段の階段を上ります。階段を上りきったら、尾根に沿って海の方に向かいます。